



せんしょう苑
望洋荘 便り

第132号
平成26年
11月発行

感染性胃腸炎（ノロウイルスを中心に）について

社会福祉法人りんさく福祉会

理事長 須田 晃

感染性胃腸炎は、冬場に流行する代表的な感染症です。特にノロウイルスを原因とする場合、学校や社会福祉施設など集団生活の場で大規模な流行となることもあり、ピークを迎える冬場には注意が必要です。

感染性胃腸炎とは、主にウイルスなどの微生物を原因とする胃腸炎の総称です。原因となるウイルスには、「ノロウイルス」、「ロタウイルス」、「サポウイルス」、「アデノウイルス」などがあり、主な症状は腹痛・下痢、嘔吐、発熱です。これら胃腸炎は、症状のある期間が短く、特別な治療法がないことから、ウイルス検査を行わず、流行状況や症状から「感染性胃腸炎」と診断されることもあります。

特に多くみられる、ノロウイルス・ロタウイルスによる感染性胃腸炎は、一～二日間の潜伏期間を経て、典型的には、嘔気・嘔吐、下痢・腹痛・三七度台の発熱がみられます（症状の程度には個人差があります）。ノロウイルスを原因とする場合、症状が続く期間は一～二日と短期間（ウイルスは一週間程度ふん便と共に排出）ですが、ロタウイルスを原因とする場合は五～六日持続することもあります。また、ロタウイルスによる感染性胃腸炎の場合、便が白色になることもあります。

感染原因と感染経路ですが、ノロウイルスやロタウイルスなどのウイル

スが、人の手などを介して、口に入った時に感染する可能性があります（経口感染）。ノロウイルスによる感染性胃腸炎は、ヒトからヒトへの感染と、汚染した食品を介しておこる食中毒に分けられ、次のような感染経路があります。

☆ 感染した人の便や嘔吐物に触れた手を介してノロウイルスが口に入った場合

☆ 便や嘔吐物が乾燥して、細かな塵と舞い上がり、その塵と一緒にウイルスを体内に取り込んだ場合

☆ 感染した人が十分に手を洗わず調理した食品を食べた場合

☆ ノロウイルスを内臓に取り込んだカキやシジミなどの二枚貝を、生または不十分加熱処理で食べた場合

感染性胃腸炎の治療ですが、ウイルスを原因とする感染性胃腸炎への特別な治療法はなく、つらい症状を軽減するための処置（対症療法）が行われます。乳幼児や高齢者では下痢等による脱水症状を生じることがありますので早めに医療機関を受診することが大切です。特に高齢者は、誤嚥により肺炎を起こすことがあるため、体調の変化に注意しましょう。嘔吐の症状がおさまったら少しずつ水分を補給し、安静に務め、回復期には消化しやすい食事をとるよう心がけましょう。

予防のポイント

① 最も大切なのは手を洗うことです、特に排便後、また調理や食事の前には石鹸と流水で十分に手を洗いましょう。

② 便や嘔吐物を処理する時は使い捨て手袋、マスク、エプロンを着用し、処理後は石鹸と流水で十分に手を洗いましょう。

③ カキなどの二枚貝を調理する時は、中心部まで十分に加熱しましょう（中心温度八五度で一分以上の加熱が必要）。

高齢者に接している職員は常に、これからの冬場に向かってきめ細かい観察と対応を心掛けなければいけませんね。

ボーリング大会

十一月九日(日)二階ホールにて「ボーリング大会」が行われました。

大きなぬいぐるみの前にペットボトルを並べ、これらをボーリングのピンに見立てて、そこをめがけてボールを投げていただきました。

大きなボールは入居者様にはちよつと重いかと思われましたが、皆様しつかりとボールを手に持つて、「よいしょ」と勢よく投げられておりました。ボールがうまく的に当たつて倒れると、「当たつたよ」と喜ばれておりました。皆様は競うようにボールを投げられ、ホールはしばらく熱気・熱気に包まれました。ひさびさに思い切り体を動かされて、満足げなすがすがしい表情の顔を拝見することが出来ました。

ボーリングの後には引き続きホールにてお茶やお菓子などを食べられました。体を動かしてのどが渴いたのか、「お茶がおいしいね」とお飲み物をゴクゴクと飲まれておりました。



日常の様子

ユニットでは、入居者の皆様が貼り絵や折り紙などに興じられるお姿が見られます。

戦後の満足に遊ぶ物の無い時代には折り紙などは貴重な遊具だったのか、慣れた手つきと昔ながらの技で魚や船などの形を作つて、我々職員を驚かせてくさいます。

また、時には自らお書きになつた下絵に色紙を張り付けて、見事な貼り絵を作り上げたりもしています。

こうして作られた作品は、ユニットの入り口付近や、掲示板などに展示させていただきます。

変わりゆく山の風景

いわき市の高台移転並びに防災林再生計画に伴い、望洋荘の近くの山では伐採が行われています。海岸沿いに、津波を防ぐ効果の高いクロマツが再度植えられるのですが、入居者の皆様からは「ずいぶん景色が変わつちやうね。これからの風になるんだろうね。」とのささやきが聞かれます。



地域密着型介護老人福祉施設 せんしょう苑



「せんしょう苑」開設四年を迎えて

地域密着型介護老人福祉施設

せんしょう苑 施設長 遠藤 宏之

平成二十三年十一月一日に開設した当施設も早いもので四年目を迎える事が出来ました。この間に、入居者さん始めご家族の方々、更には地域の方々等々、本当に多くの皆様の温かいご支援があつたからこそ深く感謝をいたして居るところです。

当施設は地域密着型の名に相応しく、ご家族の方々は勿論の事、知人友人等の面会が極めて多いのが現状です。毎月延べ三百名を超える方々がご訪問下さっております。二十九名の入所者数でありますので、多さがご理解いただけるものと思います。本当に有難いことです。

私どもはこのような皆様のご期待に添うべく、日々努力をせねばなりません。三年間の経験を生かし、入居者さんの立場に立つたユニットケアとはどうあるべきなのかを絶えず模索して行かねばなりません。研修等で得てきた知識を皆で共有し、実践に繋げて行かねばなりません。日々変化の中での対応ですから大変ですが、それが私どもの仕事ですので頑張ります。

最後に、介護をさせて頂く我々の心身が健康でありませんと、良い介護に繋がりませんので、体調管理には万全を尽くしましょう。入居者様にも職員にとっても素晴らしい四年目になるよう努力を致します。

衣料品販売会

マルト・ファミリィ



十一月九日(日)午前十時から、衣料品販売会が開催されました。夏物・冬物と季節の変わり目に行われ、今回で三回目となりました。沢山の冬物衣類や寝具などが陳列された会場に、訪れた入居者様は、ご家族やスタッフと一緒にお店の方と相談しながら、じっくりと商品を選んでおられました。今回は膝掛けが人気で、花柄や動物柄の可愛らしい物を選ばれている方も多く、「可愛い、暖かいね」と話されていました。「次はいつ来るの」ともう次の開催を楽しみにされている様でした。

お食事会

ゲスト



十一月四日(火)十二時からゲストにて、みや東ユニットの入居者様二名と食事会に行つて来ました。

メニュー表を見て料理を選んでいる時は「迷っちゃうよ」と言いながらも、表情は生き生きとされ、たくさんの料理の写真をしながら、目移りしている様子でした。注文の品が運び込まれると、「美味しそう」と言いながら、最後まで笑顔で召し上がっていました。

「たまには外食するのも良いね」と大変喜んでくださいました。



石焼きいも

寒さも厳しくなり、美味しい焼き芋が恋しい季節になって来ました。焼き芋といえば、最近はスーパーマーケットなどで売られていますが、以前は、家の庭や公園・

学校の校庭などあらゆる場所で、落ち葉を集め、焚き火をしていました。その時に一緒にさつま芋を入れて焼いたりしました。または、焼き芋屋さんが軽トラック：

昔はリアカーやオート三輪などもありました。これに大きな石焼き釜を載せて、芋を焼きながら「ピー〜」と独特の笛の音と、「い〜しやあ〜き芋〜、ぽつかぽつかのお芋だよ」栗より美味しい十三里」といった独特の節回

りで町内を売り歩くのが一般的でした。またそれが冬の風物詩でもありました。焼き芋屋さんが来ると居ても立つても居られず、財布片手に家を飛び出した方も

いるかと思えます。石焼き芋の味は、とにかく甘くて、ほくほくとして美味しいですよーこの甘さの秘密は石焼にあります。熱した小石の中にさつま芋を埋めて、間

接的にゆっくり加熱することでアミラーゼという酵素が、さつま芋に含まれている澱粉を麦芽糖に変えることにより、甘さが一段と増すそうです。

ちなみに「栗より美味しい十三里」ってどういう意味かご存知ですか？これは「栗」を「九里」に、「より」を「四里」に置き換えます。すると「九里四里美味しい十三里」となります。「九里」と「四里」で「十三里」江戸っ子の粋

な洒落らしいです。もともとさつま芋は蒸かして食べるのが主流でしたが、焼いて食べるようになったのは京都が

始まりで、そのころは焼き芋の味が栗の味に似ているが、

しかし栗の味には一歩劣るということで「八里半」と呼ばれていました。それが何時しか江戸に伝わり「栗より美味しい十三里」になったわけです。この冬、焼き芋屋さんの声が聞こえた時には、石焼き芋を買って召し上がってみては如何でしょうか。



【十二月の行事予定】

望洋荘

十二月十四日(日) 午後二時より

「玉入れ競争」二階ホール

十二月二十一日(日) 午前十時より

「クリスマス会」二階ホール

【十二月のお誕生日】

望洋荘

十二月三日(水) 勿来ユニット

鈴木 正一様 (九二歳) 誕生会

十二月十五日(月) 豊間ユニット

四家 フチ子様 (九六歳) 誕生会

十二月二十二日(月) 永崎ユニット

鈴木 さつ子様 (八七歳) 誕生会

【十二月の行事予定】

せんしょう苑

十二月七日(日) 午前十時より

「忘年会」みまや東ユニット

十二月二十一日(日) 午後十二時より

「食事会」みまや南ユニット

十二月二十三日(火) 午後二時より

「クリスマス会」みまや広場

【十二月のお誕生会予定】

せんしょう苑

十二月一日(月) みまや南ユニット

中村 武男様 (八六歳) 誕生会

十二月六日(土) みまや東ユニット

網掛 房様 (九三歳) 誕生会

十二月十日(水) みまや西ユニット

松崎 貞子様 (七八歳) 誕生会

十二月十二日(金) みまや南ユニット

岡 幸様 (九九歳) 誕生会

十二月二十九日(月) みまや東ユニット

三浦 ユキ子様 (九二歳) 誕生会

編集後記

『せんしょう苑・望洋荘』便り
平成二十六年十一月三十日発行
発行所 いわき市平豊間字合機三十九番地
社会福祉法人 りんさく福祉会
地域密着型介護老人福祉施設 せんしょう苑

介護老人福祉施設 望洋荘
電話 (0246)38-6331
電話 (0246)55-7373